

豊山町子ども・子育て会議事録 【公開用】

1 開催日時 令和3年3月19日（金）午後2時～午後3時

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1

3 議題

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の取組状況について

4 会議資料

- ・豊山町子ども・子育て支援事業計画の取組状況
- ・豊山町産前・産後ヘルパー派遣事業について
- ・豊山町結婚新生活支援事業費補助金について
- ・参考 豊山町子ども・子育て会議条例

5 議事内容

(1) 会議の開会

【福祉課長】 ただ今から、豊山町子ども・子育て会議を開始する。

はじめに、本会議の議事録についてご説明する。

町では、情報公開の一環として、審議会や委員会等の議事録を、町のホームページに掲載している。本会議もその対象になり、どのような論議がされたか、要旨を抜粋して、議事録をホームページに掲載させていただく。

(2) 委嘱状伝達

(3) 町長挨拶

【町長】 委員就任にご快諾いただいたことに御礼申し上げます。

春らしくなったが、新型コロナウイルス感染症対策が続き、卒業式などにも影響している。ワクチン接種に向けて、町としても尽力しているところである。

本日の会議は、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況についてご審議いただくこととしている。本町の子ども・子育て施策がより充実したものとなるよう、忌憚のないご意見をいただくようお願い申し上げ

げ、私からの御挨拶とさせていただきます。

【福祉課長】 町長は他の公務のため、ここで退席させていただきます。

(4) 自己紹介

(5) 豊山町子ども・子育て会議について

【福祉課長】 事務局より資料の説明を行う。

【係長】 (豊山町子ども・子育て会議について設置の趣旨・所掌事務についての説明)

(5) 会長の選任及び職務代理者の指名

【福祉課長】 本日の出席委員数は、10名中9名であり、豊山町子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定に基づき、半数以上の出席があるので、本日の会議は成立していることを報告する。

(会長の選出)

(6) 議題

【会長】 議題「第2期子ども・子育て支援事業計画の取組状況について」、事務局より説明を求める。

【係長】 (資料 説明)

【会長】 ただいまの事務局の説明に対して、意見・質問があればお願いしたい。

【A委員】 しいの木児童センターとひまわり児童館を来年度から指定管理とする、とはどういうことか。

【係長】 民間委託に近いということと分かりやすいかと思うが、社会福祉協議会に運営をまかせるもの。

【A委員】 導入するメリットは何か。

【係長】 行政が行うのに比べ、民間に委託することにより内容が豊かになる。現場のニーズに応じた、イベントの企画など、住民にとってより良い内容になっていくことを期待している。

【福祉課長】 補足する。指定管理制度は、民間の力を活用して、行政に生かそうとする制度である。これまでは町で施設の管理等を実施していたが、より専門性が高く、また、地域に密着し、ノウハウも持った専門性の高い社会福祉協議会を指定することとした。

町で活用している指定管理制度はほかに、総合福祉センター北館さざんか・青山保育園の檸檬会、スカイプールの民間業者、学習等供用施設のシルバー人材センターなどがある。

- 【B 委員】 結婚新生活支援事業について説明してほしい。39歳以下という年齢についての理由も教えてほしい。
- 【係長】 少子化対策を目的とし、39歳以下の本町に住民票を有する方どうしが結婚した場合に、30万円まで、住居のための費用や引っ越し費用を補助する制度。
- 【福祉課長】 内閣府の制度で、年齢要件については晩婚化が進んでいるため、去年までは34歳だったものが39歳まで広げようということとなっている。本町としては、結婚してもらう機会を少しでも広げようということで実施している。
- 【C 委員】 指定管理について、民間のノウハウを行政に吸い上げて活かすという効果は、保育園について具体的にあるか。
- 【福祉課長】 本町には3つの保育園がある。毎月園長会を行い、情報交換をしている。各園から様々な行事の報告があったりしていく中で、良いものはお互い取り入れて実施している。
- 【C 委員】 3園に行く機会がある。園の中の違いに驚いている。
- 【福祉課長】 青山保育園は、茶道を取り入れたり、指定管理導入当初は英会話を実施していた。園長会を毎月開催し、情報共有している。
- 【B 委員】 ファミリーサポートセンターについて、内容・情報を町民に知らせるに当たって、どのような文書を使っているか。
- 子どもを自宅で預かるのはすごく大変なこと。1対1になってトイレにも行けないし、目も離せない。施設で預かるということは、依頼者の方もそのほうが良いという声も結構ある。そのため、自宅だけでなく、施設でも預かることができる、預けることができる、と書くと、依頼者はふえるのではないか。そのほうが安心できるという意見もある。
- 【係長】 基本的には自宅で預かり、提供会員・依頼会員の同意があればこの限りでないというルールになっている。チラシにも、このような硬い表記ではないが、同様に記載している。
- 【B 委員】 施設も可能だと、預けやすいと思う。ひまわりが一番よい。職員の方もみえるので、登録しやすく、頼みやすいと思う
- 【福祉課長】 実際にその声はあり、アドバイザーの方からもそういう声はいただいている。今の計画では、確かに、原則は家、例外的にお互い同意すれば自宅以外での提供が可能である。ちょうど今、ひまわりの施設を改装中で、1

階に少し広場を設けて、マットを敷くなど検討しているところである。先の議会でも、ファミリーサポートセンターの会員数に関する質問があり、皆さんの声を聞きながら、充実させていきたいと考えている。

【D 委員】 3点、質問がある。1つ目は、10番～12番の事業の実績が令和元年だが、令和2年度現在はどうか。

2つ目は、10番の事業の全戸訪問事業で拒否家庭がどれくらいの割合か。その家庭に対して、何かしているか。

3つ目は、11番の養育支援訪問事業について、養育支援が特に必要な家庭を訪問とあるが、これはどういう判断で養育支援が必要と判断しているのか。

【事務局】 1つ目の令和2年度現在の数値ですが資料を持ち合わせていないため、調べた上で、議事録とともに御報告する。

【D 委員】 コロナの影響はあるか。

【事務局】 そこも含めてお調べする。

2つ目の拒否家庭は、自宅の訪問を嫌がる方もいる。保健センターでの検診時に声をかけたり、個別の電話連絡をして、最低限の対応を試みている。割合については、調べた上で後日御報告する。

【福祉課長】 養育支援について、要保護児童対策地域協議会の場も活用して、児童相談所と連携しながら、対応しているケースもある。

健診や、児童センターに遊びに来た時などをとらえて見守りをしつつ、SOSが発信された際には対応していく。

【D 委員】 SOSの必要性があるのに出せない事例が一番怖いところである。

【福祉課長】 今の若いお母さんたちが来てくれればいいが、なかなかそういうイベントに来られない方も多い。例えばオンライン、Webなどでの相談ができるとよいので、何らかの方法等を考えていきたい。どういう形でSOSを拾うかが重要だと思っている。なるべく今の時代にあったことを今後考えていきたいと思っている。

【D 委員】 小学校から、不登校の連絡などはあるのか。

【福祉課長】 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーがいるので、案件として上がってれば、福祉課も一緒に対応している。

【E 委員】 事業にはないが、3歳児健診で何らかの異常のあった子たちの引継ぎを毎年やっているが、3歳児健診に来ない子のフォローはどれくらいまでや

っているのか。

【指導保育士】 保育園の場合だと、3歳児健診を受けていないお子さんで、なかなか保健センターから電話をかけてもつながらないご家庭がある。そういった場合は、保育園の保育士から「3歳児健診まだだから行こうか」とか、「付き添いましょうか」とか、声かけをしている。なるべく行くような機会を作るようにしている。

【F 委員】 途中入園の待機児童は、毎年のことか。この年度に限ってたまたまなのか。

【係長】 残念ながら、毎年度、年度途中においては待機児童が特に0、1歳児を中心に発生している現状である。0、1歳児においては、保育士、施設が必要である。どうしても年度途中に生まれたお子さんについてニーズにお応えできていない。解消するため、保育士の確保などに取り組んでいる

【C 委員】 保育士が確保ができたとしたら、場所としては潤沢に大丈夫か。

【福祉課長】 保育士の配置基準のほか、面積要件も満たす必要がある。年齢が小さくなるほど、厳しくなる。例えば3人の0歳児の入園希望があった時に、保育士を1人増やせば対応できるのかといえ、今度は面積要件があるため、両方満たさないといけない。

施設については、例えば青山保育園ですと現在は乳児を受け入れていないし、また、近隣自治体では小規模保育園を誘致する動きもある。本町としても、今の3園だけで面積を増やせない状況があるのであれば、増築、青山保育園、事業所の誘致など様々な方法で一番本町にとってふさわしい方法を考えていきたい。

【C 委員】 3園ともに行くが、豊山保育園と富士保育園の赤ちゃん組はたくさんいる。コロナの時期とか大丈夫だったのか、不安になる状態。施設の確保はどうしていくか。

【福祉課長】 過去に豊山保育園を増築して、乳児専用の部屋を設けるなど努力はしているものの、まかないきれいなのが現状である。

【B 委員】 知り合いのものが、家庭の事情で一時預かりを相談し、すぐに対応していただいて助かった。その分、待機児童が解消できていないのかもしれない。待機児童対策も、ぜひ進めていただきたい。

【G 委員】 妊婦検診について、歯科検診だけ集団検診だった。仕事をしていたため、その時は行けなかった。今も集合検診なのかどうか。

【係長】 今の御質問についても、所管が保健センターのため、議事録とともに御報告する。

【会長】 他に意見・質問があればお願いしたい。

各委員 (特になし)

【福祉課長】 貴重な御意見を頂き、感謝申し上げます。我々としてもこのような貴重な声を大事にして各施策の充実をはかってまいりたい。

【会長】 本日の議題については、以上である。

(3) その他

【福祉課長】 それでは最後に、その他について。

【F委員】 会議など、急な用事するときなどに、1日単位で小学生を預かっていただけるサービスがあると助かる。学童保育は、月単位で申し込まないといけない。

【福祉課長】 ファミリーサポートセンターの講習会や町民討議会議などのように、子どもを預けながら参加していただけるよう、全体に広げていけるようにしたい。

【B委員】 ファミリーサポートセンターは小学4年生まで利用できるもので、活用するのも手である。

【福祉課長】 様々な意見をいただき、感謝申し上げます。

子どものために快適に過ごせるまちづくりをしていきたいので、今後もご協力をお願いしたい。

事務局から1点、本会議は、計画策定時は年に数回行うものの、計画進捗確認につきましては、年度末に1回、開催する予定である。

以上をもって、豊山町子ども・子育て会議を終了する。